

OKINAWA GENERAL CONSTRUCTORS ASSOCIATION

沖建協会報



令和7年

No.662

7
月号

今月号の主な内容

- ◆ 第2回役員会を開催
- ◆ 合同企業説明会に1000人超来場
- ◆ 実践型人材育成訓練終了



目 次

<NEWS>

第2回役員会	1
新規学卒者への6月中求人票提出など要請	2
建設産業合同企業説明会に離島生徒も初参加	3
東工専との連携協定で助成金等説明会開催	5
実践型人材育成訓練が閉講 修了証を交付	5
1級土木施工管理技術検定(一次)講習会	6
1級土木・建築施工管理試験に向け確認テスト	6
2級建築施工管理技士検定に向けて5校が受講	7
おきなわフェスタ実行委員会	7
建災防沖縄県支部労働災害防止大会	8
労基署管内5地区で安全管理推進大会	9
支部活動報告	10
北部支部 支部活動で安全パトロール実施	
浦添・西原支部 県都市モノ延伸協議会と勉強会	
南部・那覇支部 第1回CPDSオンライン講習会	
宮古支部 県土木建築部・農林水産部に要請	
八重山支部 県に石垣空港アクセス道路の早期整備要請	
那覇支部 国場川周辺で清掃活動	
北部支部 安衛規則説明会で改正ポイントを確認	
南部支部 防犯パトロールで詐欺防止呼び掛け	
南部支部 不法投棄防止県下一斉パトロールに参加	
北部支部 中北部管内の不法投棄防止パトロールに参加	

<建設雇用改善推進コーナー>

教えてください！我が社の働きやすい職場づくり	14
Message～後輩たちへ	15

<事務局から>

協会の動き	16
今後の日程	16

<会員の異動>

<お知らせ>

西日本建設業保証からのお知らせ	18
-----------------	----

<表紙写真>

【青年部会第16回フォトコンテスト
～島の魅力～優秀作品より】

〔造の部 みんなの公共建築賞〕

題 名：宮古島市未来創造センター

撮 影 者：城間 健

撮影場所：宮古島市平良

会員資格承継の審議と合同企業説明会などを報告

2025年度第2回役員会を開催



会員資格承継を審議した

2025年度第2回役員会が6月17日、那覇市のザ・ナハテラスで開かれた。津波達也会長は「人材不足などさまざまな課題が山積している。皆で力を合わせ、業界の発展に向け取り組んでいこう」と呼び掛けた。議事では、会員資格の承継5件と退会届2件を審議、承認した。

その他事項では、6月6日に宜野湾市の沖縄コンベンションセンターで開催された「建設産業合同企業説明会2025」について、参加企業が昨年より15社増の99社となり、東海工業専門学校と専修学校パシフィックテクノカレッジ学院の2校がブースを開設したことなどを報告。会場には県内の工業高校を中心に、普通科高校、専門学校、職業能力開発校、大学などから昨年を上回る1,000人余りの生徒・学生が来場し、過去最大規模の来場者数となったことも併せて報告した。同説明会は、新規学卒予定者や保護者に対し、建設業への理解と企業のマッチングを図る目的で毎年実施している。今年からは離島の高校生を対象に旅費を支援する取り組みも実施。宮古総合実業高校と八重山農林高校から生徒5人が来場したことを伝えた。

学卒求人に関しては、5月19日付で県知事、県教育委員会、沖縄総合事務局、沖縄労働局から、(一社)沖縄県建設産業団体連合会宛に学卒求人の確保に関する要請があったことを報告。大城肇副知事が「企業が中長期的に発展するには人材育



イベントの報告をする津波会長

成が不可欠」と述べたことについて触れ、新規学卒者採用枠を確保するためにも6月中の求人提出と早期選考、結果通知の迅速化を会員企業に働きかけるよう呼びかけた。また、大城副知事からは、新規学卒者の就職後3年以内の離職率が高止まりしていることに対して「安定した雇用環境の整備が必要」と指摘があったことも報告した。

このほか、県土木建築部が6月初旬から実施している「建設工事に係る入札不調・不落に関するアンケート調査」に対して引き続き協力を呼び掛けた。アンケート項目は、予定価格と入札額の乖離(かいり)の理由、辞退の理由など。県がこのアンケートをもとに、国に対して要請を検討していると説明した。

青年部会からは、古波蔵太志部会長が、第17回フォトコンテスト「島の魅力」の作品募集を6月2日から8月15日までの期間に実施していることを報

告。工事統括責任者会議の予定も報告した。

最後に名嘉太助副会長が「皆さんの力を借りて各支部の課題にしっかり対応していきたい」と述べ、役員会を締めくくった。

○議事

1. 会員資格承継について(5件)

【那覇支部】

金秀建設(株)(代表取締役社長・山内昌茂)

【中部支部】

(株)新栄組(代表取締役・前田正幸)

【北部支部】

(有)盛建設(代表取締役・當眞雪枝)

【宮古支部】

伊良部工業(株)(代表取締役・渡久山和彦)

【八重山支部】

崎原建設(株)(代表取締役・崎原寿正)

2. 退会届について(2件)

【那覇支部】

(有)新長堂土木(代表取締役・高良正哉)



閉会の挨拶をする名嘉副会長

【浦添・西原支部】

(有)明生建設(代表取締役・池原淳)

○その他事項

1. 建設産業合同企業説明会2025の開催について(報告)
2. 学卒求人の確保に係る要請について
3. 工事統括責任者会議の開催について
4. 入札不調・不落に関するアンケートについて
5. 第17回フォトコンテスト「島の魅力」作品募集について

新規学卒者の求人で6月中の求人票提出など要請

県や県教育委員会、沖縄労働局などの関係機関が5月19日、県内の主要経済団体に対し、新規学卒者の求人確保などを求める要請を行った。新規学卒者の就職機会拡大や若年人材の県外流出防止、県内定着率向上などが目的で、県の大城肇副知事が(一社)沖縄県経営者協会の宮城茂会長に対して、6月中の求人票提出と早期選考、結果通知の迅速化などを求める、要請書を手渡した。

要請で大城副知事は「企業が中長期的に発展するには、人材の育成が不可欠」と強調し、積極的な採用と育成を求めた。また、有効求人倍率が一定の水準を維持している一方で、3年以内の離職率が高止まりしている現状にも触れ、「安定した雇用環境の整備が必要」と指摘した。

高校生代表として参加した浦添工業高校3年の宮城雄大さんは「高校生のために多くの採用機会を用意していただき感謝している。私たちも積極的に就職活動に取り組みたい」と述べた。



宮城会長と生徒代表の宮城さん(左)

これに対し宮城会長は「人材確保は企業成長に欠かせず、特に高校新卒者の採用は地域の発展に直結する」と述べ、求人票の早期提出や選考の前倒しを会員企業に働きかける意向を示した。また、初任給の引き上げや価格転嫁といった課題にも触れ、若年人材が力を発揮できる受け入れ体制の整備に取り組む考えを示した。

津波達也会長も(一社)沖縄県建設産業団体連合会会長として出席し、要請内容を確認した。

来場者1000人超 離島生徒も初参加

建設産業合同企業説明会2025



多くの生徒が来場した

沖建協と(一社)沖縄県建設産業団体連合会による「建設産業合同企業説明会2025」が6月6日、宜野湾市の沖縄コンベンションセンターで開かれた。10回目の開催となった今回は、企業のブースが前回より15社増えて99社だった。専門学校の出展は2校。来場者数は1,000人超と発表。

合同説明会は、建設業界への入職促進を目的としたもの。各企業が工夫を凝らしたブースを設け、高校生や大学生らに対して会社概要などを説明。業務内容や職場環境などを紹介した。

今回は、宮古総合実業高校と八重山農林高校から生徒が初参加。沖建協が渡航費の一部を支援し、離島の生徒にも県内企業と直接交流する機会を提供した。地域間格差の是正と将来的な人材確保を見据えた新たな取り組みとして注目された。

主催者あいさつで津波達也会長は、「今年度出展した99社は合計932人の採用を予定している。建設産業は地域経済と県民生活を支える重要な産業。企業の話をよく聞き、夢と希望を持って就職活動に臨んでほしい」と呼びかけた。

来賓の沖縄労働局の柴田栄二郎局長は「就職に向けた実感がまだ薄いかもしれないが、応募の時期はすぐにやってくる。働くことや自立について少しずつ考えを深め、迷うことがあっても前向きに



関係者がテープカットで開会



開会式後、生徒が続々と入場

取り組んでほしい」と語りかけた。

続いて、津波会長と柴田局長、県土木建築部の嘉数広樹土木企画統括監、県教育庁県立学校教育課の田場直樹副参事がテープカットを行い、高校生らが入場した。

会場では、パネル展示や映像資料、業務体験な

どを通して、各社が自社の魅力を発信。生徒たちは興味を持った企業の説明に耳を傾けた。中には積極的に質問する生徒の姿も見られた。

(株)大米建設は、施工中の小禄道路現場をVRで再現。来場者に体験してもらう取り組みを行った。同社の後藤公子氏は「現場ではVRなど最新技術を積極的に導入している。関心を持つ生徒も多く、入職希望者の増加に期待している」と語った。

八重山農林高校グリーンライフ科の上原拓海さんは「資格の大切さを改めて感じた。企業数の多さに驚き、進路には幅広い選択肢があることに気づけた」と話した。同校の山口本教諭は「今回の説明会は将来を考える彼らにとって非常に有意義な機会だったと思う。来年も建設業に関心のある生徒を参加させたい」と述べ、継続的な参加に意欲を見せた。

【(一社)沖縄県建設業協会】

(株)南成建設、(株)東恩納組、(株)大城組、(株)仲本建設、(株)國場組、(株)金秀鉄工、(株)新洋、(株)街クリーン建設、(株)オパス、(株)豊神建設、(株)丸政工務店、(株)明成建設、(株)大興建設、(株)琉球開発、(株)第一三興建設、(株)丸尾建設、(株)共和産業、(株)ホカマ、(株)大米建設、(株)座波建設、(株)南洋土建、(株)有志建設、(株)呉屋組、(株)屋部土建、(株)北勝建設、(株)りゅうせき建設、(株)米元建設工業、(株)鏡原組、(株)太名嘉組、(株)國幸興發、(株)大協建設、(株)大寛組、(株)沖縄工設、(株)福地組、(株)平安座総合開発、(株)金城キョウ建設、(株)上門工業、(株)三善建設、(株)金秀建設、(株)大鏡建設、(株)沖縄ピーシー、(株)大成ホーム、(株)照正組、(株)仲本工業

【(一社)沖縄県建設産業団体連合会】

(株)和高建設工業、三建設備、三協電設、日進電気土木、(株)西原環境おきなわ、(株)沖電工、(株)きらり電設、(株)桐和空調設備、(株)琉球通信工事、(株)紫電舎、三栄工業、不二宮工業、マエダ電気工事、(株)國和設備工業、(株)照屋電気工事、(株)おきさん、(株)オカノ、(株)東洋設備、(株)光通信工業、(株)光電気工事、(株)沖縄特電、(株)テクノ工業、(株)デルタ電気工業、(株)東江電気工事、(株)宜野湾電設、(株)興洋電子、(株)大輝、(株)南部電工、(株)沖縄セメント工業、(株)キョウリツ、(株)技建、(株)桃原農園、(株)アゲダ空調食品設備、(株)アメリカンエンジニアリングコーポレーション、(株)大城水道工事社、(株)設備技研、(株)ヤナギ電設工業、(株)開邦工業、(株)大成設備工業、(株)ヤシマ工業、(株)中央建設コンサルタント、(株)大富建設コンサルタント、(株)国建、(株)田幸技建コンサルタント、(株)沖縄設計センター、(株)ホープ設計、(株)ワールド設計、(株)エー・アール・ジー、(株)都市建築設計、(株)国吉設計、(株)スタプランニング、(株)渡久山設計、(株)沖縄エネテック、(株)糸満工機、(株)佐久本工機

【進学】

東海工業専門学校金山校、
専修学校パシフィックテクノカレッジ学院



企業の説明に耳を傾ける生徒ら



VR体験が人気を集めた



専門学校のブースも設けられた



積極的に質問する様子も見られた

東工専との連携協定で助成金に関する説明会開催

建労センターで5月29日、東海工業専門学校金山校との連携協定に関する助成金などの説明会を開いた。会員企業14社から20人が参加し、協定内容や助成金制度の概要と手続き、東工専の教育訓練について説明を聞いた。

説明会では、沖縄労働局職業対策課の銘苅ひろみ氏が、人材開発支援助成金の申請手続きや書類整備の留意点を解説。訓練計画の早期提出や賃金支給・出勤記録の管理などを求めた。

次に東工専の高野太輔氏が、同校の建築・土木・測量などの学科やカリキュラム、学生寮について紹介。「企業と連携し、学びと実務を両立できる環境を整えている」と話した。



会員企業の担当者らが参加した

沖建協の呉屋秀裕係長は、制度の概要と活用方法、昨年度の採用実績を紹介。呉屋係長は「非工業系高校出身の生徒にも門戸を広げることで人材確保の幅が広がる。制度を積極的に活用してほしい」と呼びかけた。

実践型人材育成訓練が閉講 修了証を交付



訓練を終了した新入社員ら

2025年度実践型人材育成訓練の閉講式が6月10日に那覇地域職業訓練センターで行われ、会員企業の新入社員ら60人に職能協から修了証が交付された。36日間の訓練期間で建築コース48人、土木コース14人が参加した。

訓練は、建設業に必要な基礎知識と技能の習得を目的に会員企業の新規就業者を対象に実施している。沖建協の久高唯和事務局長は「訓練で得た知識を各職場で実践し、企業を中心となって活躍してほしい」と激励。訓練を終えた新入社員からは「他社の同期と交流できてよかった」「仲間に



鉄筋組立から解体までを行った
支えられて無事修了できた」などの声があがった。

1級土木検定(一次)の試験対策講習会を25人が受講

1級土木施工管理技術検定試験(一次)に向けた受験対策講習会を5月28日から30日までの3日間、建労センターで開いた。会員企業の社員25人が受講し、土木工事に関する労働安全衛生法や施工管理法について理解を深めた。講師は阿部昇氏、池田優氏、宮城敏明氏が努めた。

講習1日目は阿部氏が「安全管理と法規」について講義。「現場には潜在的な危険性が常に存在している。不安全な状態や行動を前提に対策を講じるべきであり、とくに労働者の入れ替わり時に事故が発生しやすい」と述べ、労働災害の定義や発生傾向、リスクアセスメントの重要性を解説。「朝礼や現場巡視、安全協議会の実施が不可欠」と強調した。

2日目は池田氏が「建設機械、舗装、基礎工、施工管理法」に関する講義を担当。各項目における出題傾向や技術的要点を説明した。



受験対策に取り組んだ



阿部氏



池田氏



宮城氏

3日目は宮城氏が「土工およびコンクリート」について講義。過去問題などから、出題傾向や回答の際の注意点を解説した。

1級土木・建築施工管理検定(一次)に向け確認テスト

1級土木と1級建築の施工管理技術検定一次試験に向けた実力確認テストが、6月9日と11日に建労センターで行われた。沖建協が日建学院と連携して会員向けに実施したもので、1級土木に32人、1級建築に36人が参加し、試験の理解度を確認した。

沖建協の久高唯和事務局長は参加者らに対して「本試験に向けて現在の実力を把握し、確実な準備につなげてほしい」と激励した。

問題は、日建学院が今年度の本試験を想定して作成した予想問題を使用。試験時間は2時間半。11日のテスト終了後はDVDによる解説映像を視聴したほか、同学院の高良翔太氏によるポイント解説が行われた。高良氏は「近年は実際の工事現場を想定した課題が出され、作業軽減策や時間外労働への対応など、実務に即した視点が求められる」と出題傾向や注意点を述べた。

受験者には後日、個人分析表が送付され、弱点



1級土木実力テストに臨む参加者ら(6月9日)



1級建築の映像解説を通して理解を深めた(6月11日)の把握や今後の学習の指針として活用される。
本試験は土木が7月6日、建築が7月20日。

2級建築施工管理技士検定に向けて5校が講座受講

高校生を対象とした2級建築施工管理技士一次後期試験の対策講座を3月から実施。沖建協と日建学院が連携して実施しているもので、沖縄工業高校と浦添工業高校、宮古実業高校、美里工業高校、名護商工高校の5校の生徒が受講した。

5月19日には、沖縄工業高校で直前対策講座が行われ、建築科2年生22人が参加した。日建学院の古謝翔也氏が問題構成や解き進め方を説明、「各設問の出題数を確認しながら得意な問題を選び、主体的に取り組んでほしい」とポイントを伝えた。「皆さんはこれまで真剣に試験に向けて取り組んできた。直前ということもあって緊張気味だが、落ち着いて取り組んで合格をつかみ取ってほしい」と激励した。

受講した宜保花妃さんは「あまり自信はないが、



試験対策に取り組む生徒ら

今まで積み重ねてきた勉強の成果を本番で発揮できるよう頑張りたい」と話した。

講座は、建設産業の人材確保と育成を目的に実施している。受講料については、一部を沖建協が支援している。

第7回おきなわ建設フェスタを11月9日開催へ

6月2日、第7回おきなわ建設フェスタの実行委員会が那覇市の沖縄産業支援センターで開かれ、津波達也会長が委員長に再任された。副委員長は、(公財)沖縄県建設技術センターの玉城守克理事長と(株)沖縄建設新聞の下地輝昭社長(委員長代行)が務める。

津波委員長は「去年は多くの家族連れや子どもたちが多数来場し、大変盛況だった。各団体の尽力もあって安全で有意義なイベントとなった。今年も引き続き、来場者にとって魅力的な体験の場となるよう工夫を重ねていきたい」と意欲を示した。さらに「委員の皆様と意見を交わしながら、建設業のイメージアップと将来の担い手確保につながる内容を目指して取り組んでいきたい」と述べ、協力を呼びかけた。

会合では、2024年度収支報告を承認し、25年度の年間スケジュールや幹事会の日程なども確認した。フェスタは11月9日に沖縄市の県総合運動公園で開催する予定となっており、各団体が連携しながら準備を進めていく。



イベントに向けて日程など確認した



協力を呼びかける津波会長

多様な人材が安心して働ける環境づくりを推進

~~~~~ 建災防沖縄県支部第50回労働災害防止大会 ~~~~~



参加者全員でスローガンを指差唱和

建設業労働災害防止協会沖縄県支部(津波達也支部長)は6月13日、第50回建設業労働災害防止大会を那覇市のパンフィックホテル沖縄で開催。建設業関係者らが多数参加し、安全への誓いや指差唱和を通じて労災撲滅への決意を新たにしました。

津波支部長は、建設現場で依然として死亡災害が発生している現状に触れ、「新規就業者の増加や高齢労働者の割合上昇などが災害の要因として挙げられる。多様な人材が安心して働ける環境づくりが不可欠。大会を機に関係者一人一人が安全への意識をより一層高めてほしい」と呼びかけた。

沖縄労働局の柴田栄二郎局長は「建設業における死亡災害は依然として多く、墜落・転落、土砂崩壊災害、重機災害、熱中症などの防止策を着実に講じる必要がある」と指摘。県土木建築部の砂川勇二郎長(代読・嘉数広樹土木企画統括監)は「Safe—Work運動を推進し、週休2日制の導入や働き方改革と両立した職場環境整備を進める」と今後の取り組み方針を示した。

安全の誓いをを行った(株)呉屋組の呉屋雄斗氏は「一人一人の行動が職場全体の安全につながる。災害ゼロを目指し、日々の確認と対策に取り組む」と宣言。続いて、(有)マル井建設の新里一氏の掛け声に合わせ、2025年度全国安全週間スローガン「多様な仲間と築く安全未来の職場」を参加者全



意識向上を呼びかける津波支部長



中村衛教授が講演した

員で指差唱和し、労災防止への意識を高めた。

記念講演では、琉球大学理学部の中村衛教授が「地震と津波への備え」と題して講演。県内の地震リスクと防災意識の重要性を科学的知見を交えて解説した。第54回総会では、役員人事で専務理事の並里智浩氏が退任し、安慶名秀樹氏が新たに専務理事に就任した。

## 県内5地区で安全管理推進大会を開催

建設業労働災害防止協会沖縄県支部の各分会や(一社)沖縄県労働基準協会の各支部など、労働災害防止関連団体による安全管理推進大会が県内各地で開かれた。7月1日から7日までの全国安全週間に向けて、事業場での取り組み事項などを確認するもので、各地区の安全衛生担当者らが参加した。

中部地区は6月4日、沖縄市産業交流センターで開催。労基協中部支部の手登根明副支部長は「安全に働ける環境づくりには関係者全体で災害防止に取り組む必要がある」と呼びかけた。沖縄労働基準監督署の工藤徹也安全衛生課長は、県内の労災発生状況と6月に施行された労働安全衛生規則改正について報告。熱中症対策の強化が新たに事業者の義務となったことを説明した。

宮古地区は、6月4日に宮古島市中央公民館で実施。労基協渡真利勝支部長は「宮古圏域では観光客増加に伴い人手不足が深刻化している。各事業所で安全リスクも高まり、安全活動は重要性を増す。各現場における災害防止の推進や環境整備に取り組んでほしい」と訴えた。

建災防沖縄県支部那覇分会、浦添・西原分会、南部分会の那覇地区大会は6月5日に浦添市のアイム・ユニバースてだこホールで行われ、約170人が参加。会員企業から担当者らが各事業場で取り組むべき安全対策を確認し、指差唱和を行って安全意識を高めた。

北部地区は6月11日に実施。建災防沖縄県支部北部分会の47人を含む55事業場・114人が参加した。琉球セメント(株)屋部工場の仲村教良氏の発声で全員がスローガンを指差唱和。安全管理の徹底を誓った。

八重山地区の大会は、6月11日に石垣市民会館で開かれた。大会実行委員長の米盛博明氏が安全第一の意識を忘れず業務に臨むよう呼びかけた。八重山労働基準監督署の津田憲志署長も、死亡災害ゼロの継続に向けて協力を求めた。大会では、砂盛建設(株)と(有)桃原建材が模範事業場として表彰された。



中部地区 指差唱和をする中部地区の参加者ら



宮古地区 災害防止を推進



那覇地区 安全対策徹底誓う



北部地区 会員ら47人出席



八重山地区 安全への意識確認

## 支部活動報告

### ■北部支部が4現場をパトロール

北部支部(仲程俊郎支部長)は5月9日、名護市と本部町の計4現場を対象に安全パトロールを実施した。支部会員など4人が指導員として参加し、各現場の安全管理体制を確認した。

本部町の(有)マル井建設が施工している「名護本部線渡久地橋仮栈橋設置工事(R6)」現場では、作業台の落下物防止対策実施と熱中症対策徹底を指導した。

(有)有志建設・(株)山中組・(有)協築JVが名護市で施工中の「(令和5年度)羽地～名護導水管布設工事(田井等工区)その2-2」現場では、開口部周囲



安全対策を確認した

に手すりや巾木を設置すること、昇降口の踊り場改善や足場確保・固定、一般車両通行用の矢印板設置などを指摘し、改善を求めた。

### ■浦添・西原支部がモノレール延伸構想テーマに勉強会

浦添・西原支部は5月12日、沖縄県都市モノレール延伸・利用促進協議会の當銘健一郎理事長ら4人を招き、鉄軌道構想とモノレール延伸に関する勉強会を開いた。支部からは内間司支部長、喜名景秀副支部長、大嶺健一郎副支部長ら10人が出席し、将来の公共交通整備に向けた課題を共有した。

内間支部長は「モノレール延伸に向けた取り組みについて実情把握と意見交換をしていきたい」と勉強会の主旨を説明。當銘理事長は「公共交通の整備は重要課題であり、建設業界の関心は心強い」と語った。



モノ促進協と意見交換した

勉強会では、恩納村～名護市間の鉄軌道先行整備案と、中部方面へのモノレール延伸との両立も議論。今後、将来の公共交通のあり方に関する提言や活動も視野に連携を深める方針で一致した。

### ■南部・那覇支部がCPDS講習

南部支部(徳元猛支部長)は5月14日、CPDSオンライン講習会を開催。会員企業の管理技術者や現場代理人32人が参加した。

(株)クロソイドの戸所俊雄氏が講師を務め、「基礎工事の計画と施工管理」をテーマに、直接基礎と杭基礎の特徴や適用条件、施工時の注意点を説明。不同沈下の主な原因となる地盤の不均質や排水処理の不備などの対策として、地盤改良や排水計画が重要になると指摘した。

15日には那覇支部(黒島一洋支部長)でも同様の講習会が開かれ、17人が参加した。



南部支部会員らが受講



那覇支部会員ら

## ■宮古支部が持続的公共事業の確保を県に要請

宮古支部(友利勝人支部長)は5月16日、県庁に砂川勇二土木建築部長を訪ね、県営公園の早期着工と道路整備・維持管理の推進、会員企業の優先活用の3項目を要請した。

友利支部長は「建設業は地域の雇用と経済活動を支える基幹産業であり、将来にわたってその役割を果たすためには安定的で持続的な公共事業の確保が必要だ」と述べた、要請書を手渡した。

要請に対して砂川部長は「厳しい財政状況ではあるが、地域の実情を踏まえて可能な限り対応したい」と述べた。県営公園整備については「現在、用地取得を進めており、民間資本を活用する整備手法の導入も視野に、市と連携して準備を進めている」と説明。道路整備に関しては下地島空港線やマクラム通り線を含む4路線の整備を進めているとした。また、道路維持・管理については「損傷の大きい箇所から優先的に対応しているが、歩道の老朽化などによる路面損傷の補修などには課



砂川部長に要請書を手渡した



農水部の喜屋武部長に要請した

題がある。現場の状況を見ながら対応していく」との考えを示した。

友利支部長らは同日、農林水産部の喜屋武盛人部長も訪ね、農業農村整備事業予算の安定確保と会員企業の優先活用を要請した。

## ■八重山支部が石垣空港アクセス道路の早期整備など要請

八重山支部の平良聡支部長らは5月16日、県土木建築部の砂川勇二部長を訪ね、石垣空港アクセス道路(石垣空港線)の早期整備・開通、石垣空港滑走路の1,000m延長の具体化、地元建設業者への優先的発注など8項目を要請した。

空港アクセス道路について砂川部長は「延長約5.3kmを暫定供用している。補正予算も確保して整備を進めていく」との考えを示した。空港滑走路の延長については、「昨年度から航空会社へのヒアリングなど各種調査を行っている。航空会社の意向も踏まえて検討していく」と述べた。

支部では、台風や地震などの災害発生時に備え、資機材の確保と協定体制の見直し、応急復旧作業への支援強化も要望。これに対し砂川部長は「迅速な対応ができるよう体制を構築したい」と述べた。このほか、港湾施設の整備拡充、建設業における担い手確保への支援、週休2日制の推進と適正工期の確保、ICT・DX導入支援の強化も要請した。



平良支部長らが砂川部長に要請



農水部の喜屋武部長に要請した

土木建築部に引き続き、県農林水産部の喜屋武盛人部長を訪ね①農業・水産基盤整備事業における地元企業への優先発注②災害復旧・防災事業における地元企業の活用強化③若手技術者育成への協力と実習機会の創出—を要請した。

## 支部活動報告

## ■那覇支部の会員企業50人が国場川周辺で清掃活動

那覇支部(黒島一洋支部長)は5月21日、那覇市の国場川周辺で清掃ボランティアを実施した。鎌や草刈り機を使って除草作業を行いながら、草むらに捨てられたごみを回収した。

社会貢献活動の一環として2021年に清掃活動を開始。12回目となる今回は、支部会員企業から約50人が参加し、国場川の下茂橋から一日橋付近までの700mを対象に地域の環境美化に取り組んだ。

活動に参加した(有)北大東建設の砂川ゆかり氏は「本社は離島にあるが、本島での美化活動に少



除草作業やごみ拾いを行ったしでも貢献できればと思って参加した」と笑顔を見せた。(株)丸真組の平良奈那子氏は「地域貢献の一環として、これからも積極的に参加したい」と語った。

## ■北部支部が安衛規則説明会で改正ポイントを確認

北部支部(仲程俊郎支部長)は5月27日、名護市の北部建設会館で労働安全衛生規則の改正に関する説明会を開催。名護労働基準監督署(渋谷雄太署長)の職員を講師に迎え、支部会員の担当者らが改正内容や熱中症対策のポイントを確認した。

安衛則改正は、熱中症の重篤化による死亡災害防止を目的に、「早期発見のための体制整備」「重篤化を防止するための措置の実施手順の作成」「関係作業員への周知」を義務付けるもので、6月1日に施行している。

伊波一人副支部長は「説明会の内容を各事業所に持ち帰り、徹底した対策を講じてほしい」と呼



熱中症対策について説明を受けた。びかけた。

渋谷署長は「現場管理のあり方にも大きく関わる。きょうの説明が現場における安全衛生管理の一助となることを期待している」と述べた。

## ■南部支部が防犯パトロールで詐欺防止呼び掛ける

南部支部は6月3日、南風原町のサンエーつかざんシティで行われた地域防犯パトロールに参加した。支部からは徳元猛支部長、新垣澄夫事務局長、瀬嵩政彦氏(株)第一三興建設)、呉屋雄斗氏(株)呉屋組)、崎原健吾氏(株)照屋土建)、砂辺繁光氏(株)豊神建設)、大城勇貴氏(株)第一建設)、瀬底元氏(株)瀬底土建)、高嶺朝正氏(有)栄開発)の9人が参加。与那原地区防犯協会関係者や与那原警察署員とともに、店内の買い物客に対し、振り込め詐欺や特殊詐欺の手口を紹介する啓発チラシを配布し、被害防止を呼び掛けた。



支部からは9人が参加した。徳元支部長は「南部支部では年6回、防犯パトロールに参加しており、うち2回は会員にも呼び掛けて取り組んでいる。会員の理解を得ながら、地域防犯の一助となれば」と述べた。

## ■南部支部が不法投棄等防止県下一斉パトロールに参加

南部支部(徳元猛支部長)は5月30日、南城市で行われた南部保健所管内の不法投棄等防止県下一斉パトロールに参加した。毎年5月30日のごみゼロの日から6月8日の世界海洋デーの期間中に県内各地で監視・啓発活動が行われており、今年は南城市をメイン地区として関係機関・団体の職員ら多数が参加。支部会員からも16人が参加した。

パトロールに先立ち南城市役所1階ピロティで出発式が行われ、県環境部の桑江隆環境企画統括監が「2023年度の県内不法投棄件数は122件、総重量約2,500tで、産業廃棄物の廃タイヤ、建設・農業系廃棄物のプラスチック類などが多く確認されている」と説明した。南部保健所の長棟美幸所長は「廃棄物の不法投棄を抑止し、不正処理対策の強化を図りたい」と述べた。パトロールは佐敷墓園「縁しの大地」、大里城址公園、馬天港付近の3カ所を巡回。馬天港では清掃活動も行った。南部支部の新垣澄夫事務局長は「定期的にパトロールを実施しないと不法投棄防止は難しいと感じた。支部でも独自に活動を展開していきたい」と意欲



参加した南部支部会員



馬天港付近の道路沿いを清掃した  
を見せた。

## ■北部支部が大宜味村と宜野座村の不法投棄等パトロールに参加

北部支部(仲程俊郎支部長)では、2025年度の不法投棄等防止県下一斉パトロールに参加し、支部管内の北部保健所と中部保健所が所管する市町村で、不法投棄の現場確認やゴミの回収を行った。

5月30日に行われた北部保健所管内のパトロールには大宜味村内の会員企業から7人が参加し、村内4カ所を巡回した。出発式で北部保健所の伊良部誠也生活環境班長は「不法投棄は、山林や崖下など人目につきにくい場所で行われることが多く、撤去が困難な状況になる。不法投棄防止のためには、関係機関が連携して監視パトロールを継続することが重要」と呼びかけた。

6月6日に実施された中部保健所管内のパトロールには宜野座村・金武町の会員をはじめ、25団体・53人が参加。宜野座村内2カ所を巡回した。



大宜味村内でゴミを回収した



宜野座村で不法投棄の現場を確認

# 教えてください！我が社の働きやすい職場づくり



職場の働き方改革、どんなことやってますか？

(株)新洋

経理総務部 部長  
宮城 克寛さん



- ・基幹システムを入れ替え、業務のDX化・効率化を進めています。また、5S活動の取り組みとして、従業員一人ひとりが意識を持って、日々整理・整頓や清掃などを徹底し、職場の快適性向上に努めています。
- ・働きやすさと従業員の自立成長を目指したこれまでの取り組みで、沖縄県所得向上応援認証や沖縄県人材育成企業認証、うちなー健康経営宣言宣言証の認定を受けました。



社員の健康管理や福利厚生、何をやってますか？

- ・従業員の定期健康診断や人間ドックにかかる費用を負担しているほか、特定保健指導など面談も実施しています。また、従業員同士の交流を図るため、サークル活動の費用を負担しているほか、ソフトボール大会に参加しています。



経理総務部 部長  
宮城 克寛さん



社員向けの支援や社会貢献など、どんなことをやってますか？

- ・資格取得支援制度を導入しています。従業員が建築士や施工管理士などの資格を取得する際の費用を負担し、スキル向上を応援しています。また、資格手当(67種類)も支給しております。
- ・社会貢献の取り組みとして、フードバンク(年2回)やビーチクリーン(年1回)などの活動を行っています。



経理総務部 部長  
宮城 克寛さん



ありがとうございました！  
今後とも、働きやすい職場づくりの取り組み紹介を通して、建設業の魅力を幅広く発信していきます。皆さんからの情報提供お待ちしております！

## まずはインターンシップを受けること

建設業に興味を持ったなら、まずはインターンシップを受けることが大切です。そうすることで、自分がこれから働いていく職場環境や将来の自分をイメージすることができます。建築でも土木でも様々な魅力があるので、体験してから決めるのもOK。自分もはじめは建築志望でしたが、インターンシップを受けた後、土木に決めました。金秀建設に一度遊びに来てください。

### 担当した現場



「浦添大公園整備工事(R5-2)」の現場で写真管理と安全管理を担当しました。



知念高等学校出身

新垣 大さん(24歳)

(金秀建設株式会社 土木工事部)

しながき まさる／南城市出身／2019年3月知念高等学校卒業／2023年4月金秀建設株式会社入社

**入職のきっかけ：**建設関係の仕事に興味があり、沖縄大学在学中に建築と土木のインターンシップを体験しました。そこで土木測量の楽しさと働きやすい職場環境に惹かれて入職しました。

**将来の夢・目標：**将来は沖縄がさらに発展できるようにインフラをたくさん造っていきたい。そのために1級土木施工管理の資格を取得することが目標です。

**休日の過ごし方：**ゴルフで精神力を鍛え、ドライブやショッピングで気分転換をしています。夜はお酒を飲みながらゆったりした時間を過ごしています。

## 沖建協「見える化」イメージアップキャラクター 「あんぜんぼーや」を現場へつれてって!!

### 地域と共に、未来を築く



Okinawa General  
Constructors  
Association

あんぜんぼーや

私たちは、沖縄県建設業協会会員です。



一般社団法人

沖縄県建設業協会

Okinawa General Constructors Association



建設業界のイメージアップと沖縄県建設業協会会員の「見える化」を図るため、協会のイメージアップキャラクター「あんぜんぼーや」のシールを作成しました。(A4サイズ、A3サイズ)

協会会員が施工する建設現場の出入り口など人目に触れる機会の多い場所に貼って、協会会員であることを示すPR活動に使用してください。

追加で必要な場合は、所属支部窓口で配布します。

## 2025年6月の動き

| 日  | 曜 | 沖建協・建産連・土木技士会・青年部会等                                           | その他会議・講習会等                                                                                                                      |
|----|---|---------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2  | 月 |                                                               | ・おきなわ建設フェスタ事務局「実行委員会・幹事会」(那覇市)                                                                                                  |
| 3  | 火 |                                                               | ・沖縄の土木技術を世界に発信する会「運営会議」(浦添市)<br>・沖縄県産業教育振興会「総会・事業説明会」(那覇市)                                                                      |
| 4  | 水 |                                                               | 【中止】沖縄県防衛協会「定期総会・防衛講話・懇親会」(那覇市)<br>・天皇陛下の沖縄訪問をお迎えする提灯奉迎の集い(那覇市)                                                                 |
| 5  | 木 |                                                               | ・沖縄県社会保険委員会「支部総会及び社会保険制度説明会」<br>(浦添市)<br>・九州建設青年会議「通常総会・意見交換会・交流会」(宮崎県)                                                         |
| 6  | 金 | ・沖建協・建産連「建設産業合同企業説明会」<br>(コンベンションセンター)                        |                                                                                                                                 |
| 9  | 月 | ・沖建協「1級土木施工管理(1次)検定試験/実力確認テスト」<br>(建労センター)                    | ・おきなわアジェンダ21県民会議「通常総会・講演会」(那覇市)                                                                                                 |
| 10 | 火 | ・沖建協「実践型育成訓練・終了式」(那覇地域職業訓練センター)                               | 【延期】沖縄不発弾等対策協議会「協議会・分科会」(那覇市)<br>・暴力団追放沖縄県民会議「定時評議員会」(那覇市)<br>・全建「表彰式、定時総会」(東京都)                                                |
| 11 | 水 | ・沖建協「1級建築施工管理(1次)検定試験/実力確認テスト」<br>(建労センター)                    |                                                                                                                                 |
| 12 | 木 |                                                               | ・建設業振興基金「監理技術者講習」(浦添市)<br>・土木学会西部支部沖縄会「臨時幹事会」(那覇市)<br>・沖縄県環境整備センター「定時株主総会」(那覇市)<br>・沖縄県職業能力開発協会「若年技能者人材育成支援等事業に係る<br>連携会議」(那覇市) |
| 13 | 金 | ・沖建協女性部会「企画推進委員会」(建労センター)                                     | ・建災防沖縄県支部「通常総会・労働災害防止大会」(那覇市)<br>・沖縄県職業能力開発協会「技能検定委員辞令交付式及び調整会<br>議」(那覇市)                                                       |
| 16 | 月 | ・沖建協「建設DXの基礎研修」～6/20(金)迄(建労センター)<br>・沖建協青年部会「研修委員会」(建労センター)   | ・沖縄労働局「建設工事関係者連絡会議」(那覇市)                                                                                                        |
| 17 | 火 | ・建設会館「株主総会」(ナハテラス)<br>・沖建協「正副会長会議」(ナハテラス)<br>・沖建協「役員会」(ナハテラス) |                                                                                                                                 |
| 18 | 水 |                                                               | ・沖縄高等専門学校産学連携協力会「理事会・総会」(那覇市)                                                                                                   |
| 24 | 火 |                                                               | ・西日本建設業保証「定時株主総会」(大阪府)                                                                                                          |
| 25 | 水 | ・建産連「役員会」(ハーバービューホテル)<br>・建産連「通常総会」(ハーバービューホテル)               | ・沖縄県暴力団離脱者社会復帰支援協議会「総会」(那覇市)                                                                                                    |
| 26 | 木 | ・沖縄県土木施工管理技士会「総会」<br>(ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城)                      | ・建設業振興基金「建設業経理事務士特別研修4級(一般向け)」～<br>6/27(金)迄(建労センター)<br>・全国建産連「通常総会」(東京都)                                                        |
| 27 | 金 | ・沖建協青年部会「事業委員会」(建労センター)                                       | ・建退共「運営委員会・評議員会」(東京都)<br>・建設業福祉共済団「定時評議員会」(東京都)                                                                                 |

## 2025年7月の行事予定

| 日 | 曜 | 沖建協・建産連・土木技士会・青年部会等                                                                | その他会議・講習会等                                                 |
|---|---|------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| 2 | 水 |                                                                                    | ・おきなわ建設フェスタ事務局「幹事会」(那覇市)<br>・沖縄県「沖縄県総合防災訓練全体会議」(那覇市、Web併用) |
| 3 | 木 | ・沖建協「不当要求防止責任者講習(八重山地区)」<br>(八重山建設会館)<br>・沖建協「工業高校生現場見学会(南部工業・建築設備科)」<br>(沖縄市、北谷町) |                                                            |
| 4 | 金 | ・沖建協青年部会「役員会」(建労センター)                                                              | ・県産品奨励月間実行委員会「県産品優先使用の要請」(浦添市)                             |
| 7 | 月 | ・沖建協「建設DXの基礎研修」～7/11(金)迄(建労センター)                                                   |                                                            |
| 8 | 火 | ・沖建協「正副会長会議」(ナハテラス)<br>・沖建協「役員会」(ナハテラス)<br>・沖建協「建設委員会」(ナハテラス)                      |                                                            |

## 2025年7月の行事予定

| 日  | 曜 | 冲建協・建産連・土木技士会・青年部会等                            | その他会議・講習会等                                            |
|----|---|------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 10 | 木 |                                                | ・沖縄こどもの未来県民会議「総会」(那覇市)<br>・沖縄気象災害防止協議会「定時総会・幹事会」(那覇市) |
| 15 | 火 |                                                | ・土木学会西部支部沖縄会「運営委員会・総会」(那覇市)                           |
| 16 | 水 | ・冲建協「工業高校生現場見学会(美来工科・土木工学科)」<br>(南風原町、他)       | ・九州土木技士会「通常総会」(福岡県)                                   |
| 17 | 木 |                                                | ・沖縄県建設業企業年金基金「代議員会」(浦添市)                              |
| 22 | 火 | ・冲建協「工業高校生対象小型車両系建設機械運転特別教育」～<br>7/23(水)迄(沖縄市) | ・全国建産連「専門工事委員会」(東京都)                                  |
| 24 | 木 |                                                | ・全建「建設業社会貢献活動推進月間中央行事」(東京都)                           |
| 25 | 金 |                                                | ・全国建設青年会議「準備会」(愛知県)<br>・建設業福祉共済団「事業推進戦略会議」(東京都)       |
| 28 | 月 |                                                | ・全建「建設生産システム委員会」(東京都)                                 |
| 29 | 火 | ・冲建協「工業高校生対象小型車両系建設機械運転特別教育」～<br>7/30(水)迄(沖縄市) | ・九建協「土木委員会」(福岡県)                                      |
| 30 | 水 |                                                | ・九建協「建築委員会」(福岡県)<br>・沖縄不発弾等対策協議会「協議会・分科会」(那覇市)        |
| 31 | 木 | ・冲建協「工業高校生対象小型車両系建設機械運転特別教育」～<br>8/1(金)迄(沖縄市)  | ・沖縄県生コンクリート品質管理監査会議(那覇市)                              |

## [7月号会員の異動]

### 代表者・所在地・組織等

| ページ | 支部名 | 会社名      | 変更事項                                 | 変更前                                                                | 変更後                                                              |
|-----|-----|----------|--------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| P17 | 那覇  | 金秀建設(株)  | 代表者                                  | 上地 千登勢                                                             | 山内 昌茂                                                            |
| P23 | 南部  | (有)呉開発   | 所属支部<br>郵便番号<br>住 所<br>電話番号<br>FAX番号 | 那覇支部<br>〒900-0024<br>那覇市古波蔵4-13-48<br>098-855-7758<br>098-855-6238 | 南部支部<br>〒901-0362<br>糸満市字真栄里2051<br>098-994-3043<br>098-994-6805 |
| P32 | 中部  | (株)新栄組   | 代表者                                  | 新垣 和美                                                              | 前田 正幸                                                            |
| P40 | 北部  | (有)盛建設   | 代表者                                  | 當眞 嗣盛                                                              | 當眞 雪枝                                                            |
| P43 | 宮古  | 伊良部工業(株) | 代表者                                  | 渡久山 健一                                                             | 渡久山 和彦                                                           |
| P49 | 八重山 | 崎原建設(株)  | 代表者                                  | 崎原 健                                                               | 崎原 寿正                                                            |

### 退 会

| ページ | 支部名   | 会社名      | 代表者名  |
|-----|-------|----------|-------|
| P18 | 那覇    | (有)新長堂土木 | 高良 正哉 |
| P28 | 浦添・西原 | (有)明生建設  | 池原 淳  |

冲建協会報 2025年7月号 (第662号)  
令和 7 年 7 月 1 日 発行  
発 行 人 源河 忠雄

発 行 所 一般社団法人 沖縄県建設業協会  
〒901-2131 沖縄県浦添市牧港5-6-8  
TEL.098 (876) -5211  
FAX.098 (870) -4565  
編 集 株式会社沖縄建設新聞

## 沖縄県内の公共工事動向（令和7年5月分）

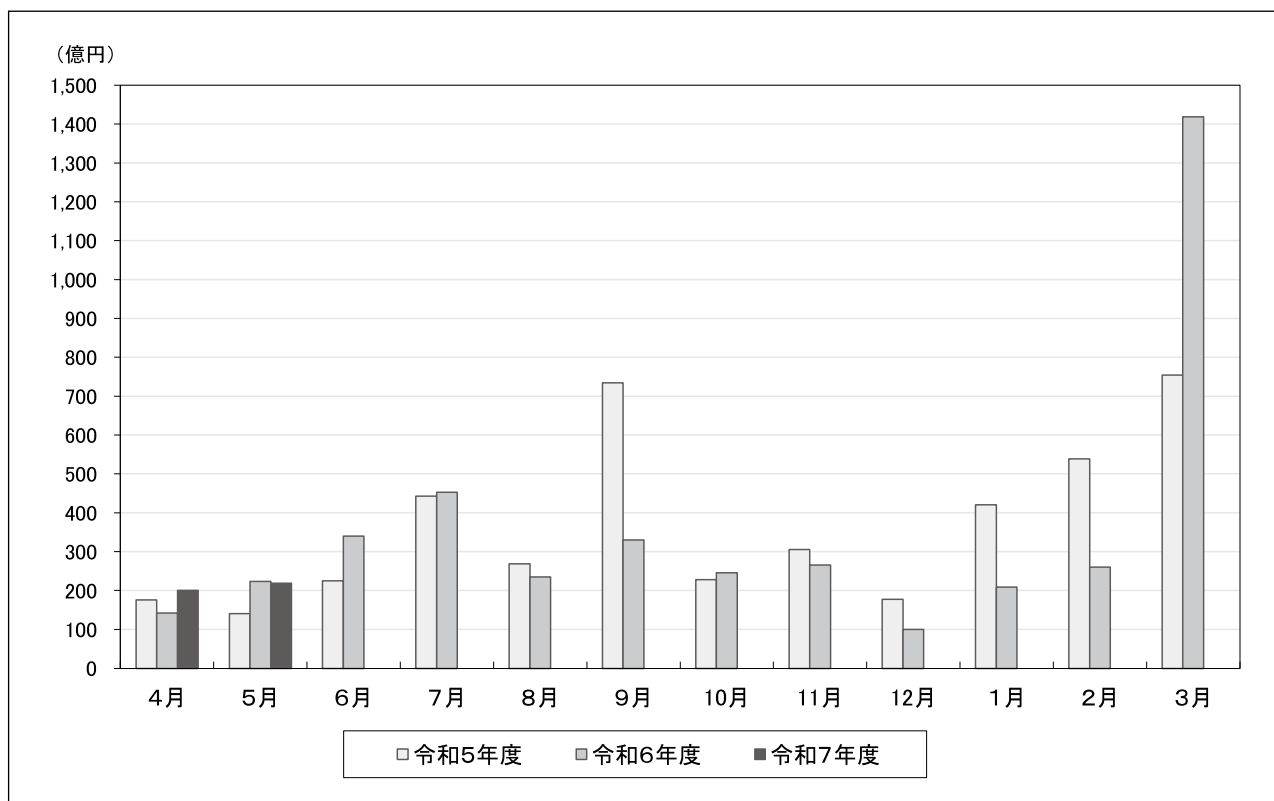
西日本建設業保証（株）沖縄支店

### ▼ 概況

（単位：件、百万円、％）

|         | 当 月 |        | 増減率    |        | 累 計 |        | 増減率    |        |
|---------|-----|--------|--------|--------|-----|--------|--------|--------|
|         | 件数  | 請負金額   | 件数     | 請負金額   | 件数  | 請負金額   | 件数     | 請負金額   |
| 国       | 41  | 4,490  | 17.1%  | 52.2%  | 66  | 6,583  | 13.8%  | 47.4%  |
| 独立行政法人等 | 3   | 528    | 200.0% | 814.4% | 8   | 1,228  | 300.0% | 647.2% |
| 県       | 64  | 9,675  | 28.0%  | 60.9%  | 126 | 16,626 | 0.0%   | 8.4%   |
| 市町村     | 76  | 6,195  | ▲3.8%  | ▲39.2% | 145 | 13,420 | 15.1%  | 5.7%   |
| その他     | 11  | 1,079  | 10.0%  | ▲66.2% | 21  | 4,187  | ▲4.5%  | 5.1%   |
| 合 計     | 195 | 21,968 | 11.4%  | ▲2.0%  | 366 | 42,046 | 9.6%   | 14.8%  |
| 令和6年度   | 175 | 22,412 | ▲4.9%  | 58.7%  | 334 | 36,639 | ▲3.2%  | 15.3%  |
| 令和5年度   | 184 | 14,118 | 17.2%  | 2.8%   | 345 | 31,782 | 13.9%  | 4.8%   |
| 令和4年度   | 157 | 13,732 | ▲19.5% | ▲51.1% | 303 | 30,326 | ▲20.1% | ▲46.2% |
| 令和3年度   | 195 | 28,056 | 14.7%  | 47.3%  | 379 | 56,408 | 12.1%  | 33.0%  |

### ▼ 月別請負金額の推移



# 建退共は 電子申請がラク!

今までの  
申請業務を  
電子申請方式で  
スマート化!



電子申請方式で  
建設業に  
働き方改革を!



ホク



電子申請は良いことたくさん! 詳細は裏面へ

建設現場で働く労働者のための国の退職金制度です。

オンラインで  
業務効率化!

工事関係書類の  
電子化にも対応!

発注機関等への  
提出作業が軽減!

## 建退共

K E N T A I K Y O

詳しい情報はこちら!

Q 建退共

<https://www.kentaikyo.taisyokukin.go.jp>



独立行政法人 勤労者退職金共済機構 建設業退職金共済事業本部 〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL 03-6731-2866

# 新しくなって、さらに安心・納得!

**手厚い補償**  
保険金区分合計  
最高**5,000万円**

**契約者  
割戻金制度**  
により  
掛金負担が軽減

労働者と企業の  
**リスクを  
カバー**



**割戻金の支払いが  
始まっています。**

社員と家族、会社を守るために。

## 建設共済保険

法定外労災補償制度

**今すぐ、  
ご加入を!**

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

### 育英奨学事業

被災者(死亡および障害・傷病3級以上)の子どもに対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

### 労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ・更衣室導入費用の助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

公益財団法人

### 建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門驛平タワー 11階

■ 取扱機関: (一社) 沖縄県建設業協会  
〒901-2131 浦添市牧港5-6-8  
Tel. 098-876-5211 Fax. 098-870-4565



正確な掛金の試算や資料請求はこちらまで



**0120-913-931**

受付時間 午前 9:00 ~ 午後 5:00 (土日祝を除く)

詳しくは HP をご覧ください!

**建設共済保険**

**検索**

<https://www.kyousaidan.or.jp/>



新内 舞衣

# STOP! 熱中症

## クールワークキャンペーン

- ✓ WBGT値を意識しよう
- ✓ 水分・塩分をこまめにとろう
- ✓ 休憩を適度に入れよう
- ✓ 緊急時の手順を確認しよう
- ✓ 体調が悪い時は仲間に伝えよう

2025 5/1 ▶ 9/30 準備期間 4月 / 重点取組期間 7月

コード No.760701  
建設業労働災害防止協会

 建設業労働災害防止協会

沖縄県建設業協会青年部会



賞金 **5** 万円  
最優秀賞

# 第17回 島の魅力 フォトコンテスト

作品応募期間 令和7年6月2日(月)～8月15日(金)

【表彰式】

令和7年11月17日(月)  
県庁1階ロビー(予定) 当日消印有効

【テーマ】

「人」の部

建設業で働く人々を題材

にした作品【撮影場所：沖縄県内】  
土木・建築・設備・その他の工事現場で  
「いきいきした姿」「人間味あふれる姿」  
「真剣な姿」働く人々をとらえた作品

★キーワード…技能・技術・連携・安全・  
裏方・親睦・仲間・家族・笑顔・地域、等

「造」の部

建設業が造りだす構築物を題材

にした作品【撮影場所：沖縄県内】

沖縄県内で施工途中、又は既に竣工し  
た構築物等「美しい様子」「存在感のあ  
る様子」「象徴的な様子」で街や人々の  
よりどころとなっている

★キーワード…技術・工法・規模・雄大・  
デザイン・自然・街並・都市・調和、等

【賞】

各部門

最優秀賞 1点(賞状・賞金 5万円)

優秀賞 2点(賞状・賞金 2万円)

学生賞 1点(賞状・賞金 1万円)

入選 10点(賞状・賞金 5千円)

みんなの公共(建築・土木)賞

・建築賞(造の部) 2点(賞状・賞金 1万円)

・土木賞 1点(賞状・賞金 1万円)

沖縄建設新聞社長賞 1点(賞状・賞金 1万円)

現場で働く美ら小町賞 1点(賞状・賞金 1万円)

(人の部より)

※入賞は各部門1人1点とします。

お問い合わせ先・応募先

沖縄県建設業協会青年部会  
第17回 フォトコンテスト

— 島の魅力 — 係

〒901-2131 沖縄県浦添市牧港5-6-8

TEL: 098-876-5211

FAX: 098-870-4565

<http://www.okikenkyo.or.jp/>

主 催：沖縄県建設業協会青年部会  
後 援：内閣府沖縄総合事務局・沖縄労働局・沖縄県・沖縄県市長会・沖縄県町村会・NHK沖縄放送局  
協 賛：エフエム沖縄・沖縄銀行・沖縄青森銀行・沖縄建設新聞・沖縄県土木施工管理技士会・沖縄タイムス社・沖縄テレビ放送・カメラのモリヤマ・(一社)公共建築協会・ラジオ沖縄・琉球朝日放送・琉球銀行・琉球新報社・琉球放送(五十音順)

青年部会 島の魅力

